令 和 ７ 年 度

事 業 報 告 書

（自）令和 ７ 年　４月　１日

（至）令和 ８ 年　３月３１日

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会

目　　次

Ⅰ．法人運営事業

１．理事会・評議員会の開催及び監査の実施 2
２．委員会の開催 3
３．社協会員（一般・特別・法人）の加入推進 3
４．連絡調整 4
５．広報啓発活動 4
６．熱中症対策普及事業 4

Ⅱ．地域福祉事業

７．支部地区社協活動推進事業 4
８．低所得者福祉 5
９．法人後見受任事業 6
１０．心配ごと相談所の運営 7
１１．ボランティアセンター事業 8
１２．共同募金配分事業 12
１３．善意銀行の運営 14
１４．福祉バス利用状況 14
１５．総合相談 15

Ⅲ．受託事業

１６．地域包括支援センター（ブランチ）業務 15
１７．かさま安心サポート事業 16
１８．生活福祉資金貸付事業 17
１９．フォローアップ支援事業 18
２０．生活困窮者自立相談支援事業 18
２１．日常生活自立支援事業 19
２２．在宅福祉サービスセンター事業 19
２３．子育て世帯訪問支援事業 20
２４．移動支援事業 20
２５．手話奉仕員養成講座 20

Ⅳ．指定管理業務

２６．地域福祉センター事業の経営 20

Ⅴ．障害者支援事業

２７．障害者就労継続支援Ｂ型事業 21
２８．指定特定相談支援事業所 22

Ⅵ．介護予防・日常生活支援総合事業

２９．通所型サービス「いきいき通所事業」 22
３０．訪問型サービス「ふれあいサポート事業」 23
３１．生活支援体制整備事業 23

Ⅶ．介護保険事業・障がい福祉サービス事業

３２．居宅介護支援事業 26
３３．訪問介護事業 27
３４．訪問入浴介護事業 27
３５．居宅介護事業（ホームヘルプ事業） 27

Ⅰ．法人運営事業

１．理事会・評議員会の開催及び監査の実施

（１）理事会

理事会は、法人の業務決定及び意思決定の機関並びに評議員選任の同意機関で、法人の中心となる会議です。

理事の合議体である理事会において法人の経営方針を立て、事業計画や予算等の法人の重要事項の方針決定に参画しました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7．6．4	第1回理事会	議案第1号　令和6年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第2号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員候補者の推薦(案)について 議案第3号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会監事候補者の推薦(案)について 議案第4号　令和7年度　第1回　評議員会の招集事項について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	9
7．6.19	第2回理事会	議案第5号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について 議案第6号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選考について 議案第7号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	10
8．1.19	第3回理事会 (決議の省略(書面による開催)	議案第8号　介護保険事業所　訪問入浴事業の廃止について		9
8．3.23	第4回理事会	議案第9号　令和7年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第10号　社会福祉法人笠間市社会福祉協会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第11号　令和8年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業計画（案）について 議案第12号　令和8年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会予算（案）について 議案第13号　役員等賠償責任保険契約締結について 議案第14号　令和7年度　第2回評議員会の招集事項について 議案第15号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員候補者の推薦(案)について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	9

（２）評議員会

重要事項に関して意見を述べる諮問機関であり、理事のけん制機能を担う機関が評議員会です。

評議員会は、法人経営に直接携わる理事とは異なる立場から意見を述べることで、より良い法人の業務運営に資するよう努めました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7．6.19	第1回評議員会	議案第1号　令和6年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 議案第2号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会理事の選任について 議案第3号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会監事の選任について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	10

8. 3.30	第2回評議員会	議案第4号　令和7年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会補正予算(第1号)(案)について 議案第5号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第6号　令和8年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第7号　令和8年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会予算(案)について 議案第8号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会理事の選任について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	11

（3）監査

理事の業務執行及び法人の財産状況について毎年、定期的な監査をし監査報告を行います。また、理事の業務執行、法人の財産状況に対する意見を表明しました。

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 5.16	定例監査	(1)令和6年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業及び収入支出決算監査について (2)令和6年度　社会福祉法人茨城県共同募金会笠間市共同募金委員会事業及び収入支出決算監査について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	2
12.18	中間監査	令和7年度　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会事業及び収入支出状況について(令和7年4月から9月分)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	2

２．委員会の開催

（1）広報委員会の開催(かさま社協だより)

発行日	事業概要（会議事項）	会　　場	参加延人数
7. 8.21	57号発行（編集、原稿校正　計5回）	地域福祉センターともべA館	44
12.18	58号発行（編集、原稿校正　計5回）	地域福祉センターともべA館	44
8. 4.16	59号発行（編集、原稿校正　計5回）	地域福祉センターともべA館	48

（2）評議員選任・解任委員会の開催

実施日	事業概要（会議事項）	会　　場	参加人数
7. 6. 4	議案第１号　社会福祉法人笠間市社会福祉協議会評議員の選任について	地域福祉センターともべA館	4

（3）虐待防止及び身体拘束適性化検討委員会

実施日	事業概要（会議事項）	会　　場	参加人数
8. 2.24	１）虐待、身体拘束事案の報告について ２）研修「虐待を防止するための日常の取組について」(厚生労働省:令和7年度障害者虐待防止･権利擁護指導者養成研修資料より) ３）その他	地域福祉センターともべA館	7

３．社協会員（一般・特別・法人）の加入推進

市民の皆さまからの会費は、すべて本会が実施する地域福祉活動に充てられます。

会員となっていただくことで「誰もが安心して暮せる福祉のまちづくり」に参加する仕組みとなります。

（1）会員区分

法人会員3,000円以上、特別会員3,000円以上、一般会員1,000円以上

地区別会費額　　単位：円

地　区	法　　人	特　　別	一　　般	合　　計
笠　　間	299,000	38,000	5,979,000	6,316,000
友　　部	876,000	600,269	8,012,000	9,488,269
岩　　間	530,000	44,000	2,470,000	3,044,000
合　　計	1,705,000	682,269	16,461,000	18,848,269

（2）地区別助成金及び広報助成金　　単位：円

地　区	助　成　金	広報助成金	合　　計	備　　考
笠　　間	1,744,000	125,450	1,869,450	9支部・3地区
友　　部	4,739,135	473,913	5,213,048	6支部
岩　　間	618,000	6,900	624,900	9地区
合　　計	7,101,135	606,263	7,707,398	

※広報助成金は、年2回以上広報誌を発行した支部地区社協（後期助成時）に助成します。

4．連絡調整

関係機関、関係団体との連絡調整を図りました。

（1）県社協及び医療機関との連携

（2）民生委員児童委員協議会との連携

5．広報啓発活動

事業情報を広報誌、ホームページ、各種イベントで提供、啓発に努めました。

（1）かさま社協だより57号、58号、59号の発行　発行部数 23,000部

（2）ホームページやSNS、デジタルサイネージによる広報啓発及び情報提供

（3）広報かさま「お知らせ版」の活用（講座やイベントの案内等）

6．熱中症対策普及事業

笠間市熱中症対策普及団体の指定を受け、笠間市社会福祉協議会が実施する様々な事業において、熱中症対策チラシを配布しての注意喚起や事業利用者の体調確認等を行いました。

期　間：令和7年5月12日から令和7年9月30日まで

実施事業	取組み内容
支部地区社協 コミュニティサロン	支部地区社協(27地区)が開催する事業やコミュニティサロン(29か所)の参加者に熱中症チラシを配布、注意喚起を呼びかけました。
配食サービス	事業協力のボランティアが弁当配達のため利用者宅を訪問した際、体調確認や熱中症チラシを配布して注意喚起を呼びかけました。 また、ボランティアに対しても同様のチラシを配布しました。
高齢者実態把握	85歳以上のひとり暮らし高齢者や介護サービス未利用者を訪問した際、熱中症チラシを使って熱中症の危険性を説明し、注意喚起を呼びかけました。
在宅福祉サービス	家事支援、移送サービス利用者の体調確認及び熱中症チラシを配布して、注意喚起を呼びかけました。
障害者就労継続Ｂ型	朝礼時の体調確認、活動中の水分補給声掛け、自宅でのエアコン等利用を促しました。
介護予防通所事業 （いきいき通所）	利用者へ熱中症チラシを配布、朝・帰りの会等で水分補給や自宅でのエアコン等利用を促しました。
居宅介護支援事業 訪問介護事業 訪問入浴介護事業	利用者訪問時の体調確認及び熱中症チラシを配布して、注意喚起を呼びかけました。

Ⅱ．地域福祉事業

7．支部地区社協活動推進事業

小学校区、行政区、公民館を単位として支部地区社協を設置しています。

「向こう三軒両隣り」の助け合い体制づくりを推進し、それぞれの地域にあわせた福祉の向上を目指すため支援しました。

（1）支部地区社協との連絡調整

支部地区社協との連携･会員会費の募集

市社協･支部社協共催事業の実施と支部活動との連携

①運営委員会

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 5.27	友部地区支部社協運営委員会	(1)令和6年度事業報告について (2)令和7年度事業について (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	23
6.27	笠間地区支部社協運営委員会	(1)正副運営委員の選出について (2)令和6年度事業報告について (3)令和7年度事業について (4)その他	社協笠間支所	9
6.27	岩間地区社協運営委員会	(1)令和6年度事業報告について (2)令和7年度事業について (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	8
11.18	友部地区支部社協運営委員会	(1)社協会員会費還元金(後期)について (2)支部活動報告 (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	15
10.30	笠間市支部地区社協運営連絡会	(1)連絡会役員の選出について (2)地域づくり合同集会について (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	8
11.26	岩間地区社協運営委員会	(1)活動助成金(後期)について (2)地区社協情報交換について (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	7
12.11	笠間地区社協運営委員交流研修会	(1)活動助成金(後期)について (2)地区社協情報交換について (3)その他	日立オリジンパークほか	24

②地域福祉活動、支部地区社協を理解するための学習会等

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 5.27	友部地区支部社協運営委員会	講話「社会福祉協議会について」 講師　社会福祉協議会会長　鷹松丈人	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	23
7. 6.30	中央支部女性部	高齢者のための配食勉強会	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	20
10.31	宍戸支部女性部			21
11. 6	東支部女性部			28
11. 7	宍戸支部女性部			17
8. 2. 5	東支部女性部			28
2. 6	中央支部女性部			20
8. 3.14	地域づくり合同集会	１．各地区活動発表 笠間：友びきの会（箱田小圏域協議体） 友部：中央支部（支部社協） 岩間：女子会なごみ(地域コミュニティーサロン) ２．講演 「孤独にならないための地域社会で健康に暮らす方法」 講師　筑波大学災害・地域精神医学教授 茨城県立こころの医療センター副院長 太刀川　弘和　様 筑波大学付属病院精神神経科病院講師 茨城県立こころの医療センター医師 小川　貴史　　様	友部公民館	171

８．低所得者福祉

（１）小口資金貸付事業

生活困窮者に対して、緊急的に必要とする生活費の貸付けを行い自立を支援しました。

運用状況　　単位：円

項　　目	合　　計	件　　数
①前年度繰越未償還額	1,043,700	64
②当 年 度 貸 付 額	616,000	30
③当年度貸付金償還額	462,000	26
④過年度貸付金償還額	168,000	15
⑤欠　損　処　分　額(前年度徴収不能引当金)	0	0
⑥未　償　還　金　計	1,029,700	61
⑦前 年 度 繰 越 金	1,457,550	
⑧通　帳　残　高(③＋④＋⑦－②)	1,471,550	
⑨徴 収 不 能 引 当 金(不能欠損予定額)	40,000	2
⑩次 期 貸 付 資 金 額(⑥＋⑧－⑨)	2,461,250	

（2）フードバンク支給

ＮＰＯ法人フードバンク茨城、カスミフードスクエア友部店及び株式会社ファミリーマートからの協力を得て、経済的に困っている方へ食料品等を支給しました。また、ボランティア団体等へ呼びかけ、家庭で余分にある食料品を集める「フードドライブ」を行い、フードバンク茨城に提供することで相互連携を図っています。

①支援延世帯

笠　間	友　部	岩　間	合　　計
41	93	21	155

②きずなBOX・フードドライブへ寄せられた食品等

米	785kg
食品等	480.8kg

③カスミフードスクエア友部店から寄せられた食品

米	0kg
食品	49.92kg

④ファミリーマート7店舗から寄せられた食品

（笠間旭町店、友部インター店、笠間東平店、道の駅かさま店、笠間押辺店、笠間中央店、笠間近森店）

食品	1,409kg

（3）ひきこもりサロン「さんぽみち」

ひきこもり状態にある方の社会参加を目的に居場所を提供しました。ひきこもりサロンでは、お茶を飲みながら雑談やゲーム（トランプ、ボッチャ、かるた等）を行い、参加された方の心が少しでも軽くなるよう、ほっと一息つけるような場を提供しています。

参加延べ人数（ボランティア含む）　計31人　（男性17人　女性14人）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
参加人数	6	5	6	6	5	3	8	3	8	6	4	3	63

年齢別利用者実人数　計5人　（男性3人　女性2人）

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	2	1	0	0	0	3
女性	0	0	1	1	0	0	2
合計	0	2	2	1	0	0	5

９．法人後見受任事業

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など判断能力に要支援課題が生じた者の判断能力を補うため、本会が成年後見人又は保佐人、補助人（以下「法定後見人等」という。）になることにより、成年被後見人、被保佐人、被補助人（以下「被後見人等」という。）の身上保護、財産管理を行い、その権利を擁護することを趣旨とする。

①運営委員会審査件数累計

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	合計
承　認	0	0	0	0
不承認	0	0	0	0

②新規受任件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③終了件数累計

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

④実利用者数

	認知症高齢者			知的障がい者			精神障がい者			合計
類型	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	後見	保佐	補助	
累計	2	0	0	1	0	0	0	0	0	3

１０．心配ごと相談所の運営

心配ごと相談所では、相談員が日常生活の困りごとや心配ごとの相談を受けました。
法律相談は、弁護士による相談を実施しました。
※法律相談は、最初に心配ごと相談を受けた後、専門性が高い相談内容の場合に法律相談の予約となります。

（１）相談員及び開設日

心配ごと相談員各地区6人

	笠　間	友　部	岩　間
心配ごと相談	第2・4火曜日	第2・4水曜日	第1・3木曜日
法　律　相　談	第3金曜日	第1金曜日	第2金曜日

（２）相談内容及び相談件数

相談事項	心配ごと相談				法律相談			
	笠間	友部	岩間	合計	笠間	友部	岩間	合計
生　　計	1	1	1	3	1	1	0	2
年　　金	0	0	0	0	0	0	0	0
職業・生業	1	1	2	4	2	1	1	4
住　　宅	3	3	1	7	1	0	2	3
家　　族	5	5	6	16	1	1	0	2
結　　婚	2	0	0	2	1	1	0	2
離　　婚	3	8	4	15	4	4	2	10
健康・衛生	0	0	0	0	0	0	0	0
医　　療	0	0	0	0	0	0	0	0
精神・衛生	0	0	0	0	0	0	0	0
人権・法律	2	0	0	2	1	0	0	1
財　　産	9	11	8	28	3	11	6	20
事　　故	0	1	0	1	0	0	1	1
児童福祉・母子保健	0	0	0	0	0	0	0	0
教育・青少年	0	0	0	0	0	0	0	0
障がい者(児)福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
苦　　情	6	4	3	13	1	2	2	5
そ　の　他	4	6	5	15	3	3	1	7
合　　計	36	40	30	106	18	24	15	57

（３）心配ごと相談ケース検討会・研修会

地　区	事業・会議名	会　場	参加延人数
笠　間	ケース検討会(6/10、10/28、2/9)	社協笠間支所	14
友　部	ケース検討会(6/16、11/17、2/16)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	18
岩　間	ケース検討会(6/19、10/16、2/19)	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	17
全地区	心配ごと相談員3支所合同研修会（2/17）	茨城県立こころの医療ｾﾝﾀｰ	13

１１．ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、支援、登録、情報収集及び提供等を行いました。
また、講座等を開催し福祉活動への理解と参加を推進しました。

（１）ボランティアセンター事業の推進

・推進員2人を配置
・栄養士1人を配置
・ボランティアサークル(81サークル1,233人が活動)
・個人ボランティア　(29人が活動)

（２）主な会議

運営会議･代表者会議･委員会等

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　場	参加者
7. 7.14	茨城県央ボランティア連絡会 第1回運営委員会	(1)令和7年度　役員の選出について (2)令和7年度　事業計画及び収入支出予算(案)について (3)その他(情報交換等)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	1
12.10	茨城県央ボランティア連絡会 研修交流会	「ボッチャ交流会」 ボッチャ大会及びグループ交流会	岩間公民館	11
8. 3.11	茨城県央ボランティア連絡会 第2回運営委員会	(1)令和7年度　事業報告並びに収入支出決算について (2)会計監査報告について その他(情報交換等)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	1
7. 5.21	笠間市ボランティア連絡協議会総会	(1)令和6年度　事業報告について (2)令和6年度　収入支出決算報告について 監査報告 (3)令和7年度　事業計画(案)について (4)令和7年度　収入支出予算(案)について (5)役員の改選(案)について (6)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	15
6.25	第1回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1)研修会について (2)ふれあい訪問事業について (3)茨城県央ボランティア連絡会事業について (4)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	11
11.11	第2回笠間市ボランティア連絡協議会役員会	(1)第20回かさま陶芸の里ハーフマラソン大会スープサービスについて (2)大相撲笠間場所について (3)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	5
7. 4. 7	笠間支部監査	(1)令和6年度　会計監査	社協笠間支所	2
4.28	笠間支部総会	(1)令和6年度　事業報告について (2)令和6年度　収入支出決算報告について 監査報告について (3)令和7年度　事業計画(案)について (4)令和7年度　収入支出予算(案)について (5)その他	社協笠間支所	39

5.12	笠間支部 第1回運営委員会	(1)笠間支部研修会について (2)福祉バザーについて (3)令和7年度　ふれあい訪問事業について (4)市ボランティア連絡協議会研修会について	社協笠間支所	12
7. 7	笠間支部 第2回運営委員会	(1)市ボランティア連絡協議会交流会について (2)ふれあい訪問事業について (3)笠間支部研修交流会について (4)福祉バザーについて	社協笠間支所	12
9. 1	笠間支部 第3回運営委員会	(1)市ボランティア連絡協議会交流会について (2)ふれあい訪問事業について (3)福祉バザーについて (4)その他	社協笠間支所	13
10. 6	笠間支部 第4回運営委員会	(1)福祉バザーについて (2)ボランティア連絡協議会笠間支部交流会について	社協笠間支所	14
11.10	笠間支部 第5回運営委員会	(1)福祉バザーについて(報告) (2)ボランティア連絡協議会笠間支部交流会について	社協笠間支所	9
8. 3. 3	笠間支部 第6回運営委員会	(1)ボランティア連絡協議会笠間支部研修交流会について (2)ボランティア連絡協議会笠間支部令和8年度総会について (3)その他	社協笠間支所	12
7. 4.23	友部支部 第1回代表者会議 (総会)	(1)令和6年度　事業報告及び収入支出決算について監査報告 (2)令和7年度　事業計画(案)及び収入支出予算(案)について (3)役員改選について (4)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰ ともべA館	43
8.29	友部支部 第2回代表者会議	(1)ボランティアサークル代表者研修会について (2)ふるさとまつりinかさまについて (3)夏休みわくわく体験教室報告について (4)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰ ともべA館	36
12.15	友部支部 第3回代表者会議	(1)ふるさとまつりinかさまバザー報告について (2)ボランティアサークル代表者研修報告について (3)ボランティア大集合について (4)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰ ともべA館	35
7. 5.14	岩間支部総会	(1)令和6年度　事業報告について (2)令和6年度　決算報告について 監査報告について (3)令和7年度　事業計画(案)について (4)令和7年度　予算(案)について (5)報告事項　役員改選について (6)講話「ごみの分け方・出し方のポイント」 笠間市資源環境課	地域交流ｾﾝﾀｰ いわま 「あたご」	80
5.28	岩間支部 第1回委員会	(1)ＯＢ交流会について (2)令和7年度　研修交流会(ミニ講座)について (3)バス研修会について (4)福祉バザーについて (5)夏休みわくわく体験実施に伴う協力依頼について	地域福祉ｾﾝﾀｰ いわま	19

5.28	第1回食事づくりボランティア打合せ	(1)いきいき通所事業に関わる「かき揚げ」の依頼について (2)食事づくりボラ決定事項等「再確認」 (3)盛り付けの留意点について (4)その他	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	11
9.12	岩間支部 第2回委員会	(1)福祉バザーの開催について (2)市ボランティア連絡協議会交流会について (3)わくわく体験教室　感想について 4)社協2階調理室、地域交流センターあたご調理室清掃について (5)保菌検査の実施について	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	19
9.12	第2回食事づくりボランティア打合せ	(1)ご飯を炊く時の水の量について (2)おそばの日の料金について (3)冷蔵庫、冷凍庫への食材の保存について (4)配食時のボランティアの食事数について (5)研修会の実施について	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	12
8. 1.28	岩間支部 第3回委員会	(1)バス研修会について (2)ミニ講座について (3)福祉バザーの反省について (4)ボラ連協岩間支部交流会について (5)令和８年度事業計画(案)について (6)ボラ連協岩間支部会則の一部改正(案)について (7)その他 1)ひまわり会の解散について 2)ハイビスカスの会活動について 3)社協岩間支所空調設備故障について 4)令和８年度ボランティア登録への意思確認について 5)ローターリークラブ褒章者推薦について	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	19
8. 1.28	第3回食事づくりボランティア打合せ	(1)令和８年度食事づくり日程について (2)季節の献立について (3)そばの日の天ぷら等調理について (4)配食サービスみそ汁の廃止について (5)配食の掛け紙について (6)中心温度計の活用について (7)ハイビスカスの会活動曜日について (8)揚げ物用鍋の購入の検討	地域福祉ｾﾝﾀｰいわま	12

（３）福祉育成事業

「子どもの時から福祉の芽を」をモットーに学校や地域で福祉体験学習や講演会等を行い、福祉の心を育てました。

①児童･生徒の福祉講座

夏休みわくわく体験教室

地区	開催日	内　　容	参加者延人数	協力者延人数
笠間	6. 7.25 ～8. 8	スクエアステップ・工作A・工作B・ゴキちゃんコロリ・パステル和みアート・手話	29	8
友部	7. 7.20 ～8. 8	竹細工の水鉄砲・はり絵・手づくりフクロウづくり・防災訓練・パネルシアター・貝殻水族館・切り絵・ボッチャ・手話・手打ちそば・点字・ジャムづくり	131	103
岩間	7. 7.29 ～8. 8	いきいきヘルス体操と物づくり・手打ちそばづくり・ボッチャ体験・スクエアステップ・点字・パンづくり	46	32
合　　計			206	143

②福祉川柳募集

児童・生徒、また住民の福祉への理解が深められることを目的として、福祉に関わることをテーマに福祉川柳を募集しました。

応募・掲載者数　33人

③各種教室の開催

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 7.19	キッズ読み聞かせ教	声を出して読むことで、理解が深まることを実	地域福祉ｾﾝﾀｰ	6
7.26	室（2回教室）	感し、伝えることの大切さや楽しさを学ぶ	ともべＡ館	5
7.26	キッズ「おかね」の	生活するために必要なことを親子で一緒に考え	地域福祉ｾﾝﾀｰ	児童3
	はなし	る	ともべＡ館	保護者2
8.20	笑育講座(全5回)	離乳食でも食べられるパンづくり	地域福祉ｾﾝﾀｰ	10
9.25		おうちでヘアカット	ともべＡ館	9
11.27		お家でもできる　マッサージとヨガ		2
2.18		おうちでカンタン　大福作り		4
3.12		巻きすを使った　のり巻き作り		8

④市民対象の福祉講座

ボランティア活動育成のための学習会

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 6.19	読み聞かせ講座	正しい発声や、元気に声を出すための講座	地域福祉ｾﾝﾀｰ	14
7.17	(4回)		ともべA館	13
8.21				14
9.18				14
10.23				12
11.20				13
12.18				13
8. 1.15				12
2.19				11
3.19				13
6. 3	第一火曜日の会	笑いヨガ		16
10.28	(2回)	デザインのおはなし		8
11.26	託児ボランティア	保育の基本を学ぶ		5
12.17	講座			8
8. 1.21	食事づくりボラン	調理の基礎知識、調理実習		3
1.28	ティア講座			3
8. 2.20	子育てママパパ応	就学に必要な手提げ袋、シューズ入れづくりを		3
3. 6	援講座(全2回)	ボランティアが指導		2
3.23	傾聴ボランティア	相手の話しに耳を傾けること、気持ちに寄り添	地域福祉ｾﾝﾀｰ	11
	講座	い受け止めることなどを学ぶ	ともべA館	

⑤災害ボランティアセンター運営訓練（県社協共催）

日　　程	事業名	内　　容	会　　場	参加者
7.11.23	災害ボランティア	講義及び災害を想定し、災害ＶＣの設置運営訓練	地域福祉ｾﾝﾀｰ	75
	センター運営訓練	を実施	ともべＡ館	
	VC 設置研修			

⑥お役に立ち隊の勉強会

お役に立ち隊登録者のための勉強会（令和７年度　新規事業）

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 8.25	勉強会	社会福祉協議会の活動を理解していただき、共	地域福祉ｾﾝﾀｰ	21
		に地域について考えていくボランティアです。	ともべA館	
		社協事業の説明と、ボッチャ交流をしました。		

１２．共同募金配分事業

（１）配食サービス事業の実施

75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、食事づくりが困難な方に食生活を支援し、心のふれあい活動を行いました。

地区	活動回数	利用者延人数	協力ボランティア延人数
笠間	43	1,894	1,077
友部	61	1,657	1,171
岩間	44	1,510	589
合計	148	5,061	2,837

（２）ボランティアにおける在宅サービス活動

地区	活動ボランティア	活動回数	利用者延人数	協力ボランティア延人数
笠間	電話訪問(ふれあい電話)	36	38	40
友部	電話訪問(ふれあい電話)	168	540	168
	声の広報(むぎぶえの会)	12	36	84
	点　　訳（三六の会）	36	36	372
	傾　聴　ひ　ま　わ　り	88	1176	352
岩間	電話訪問(ふれあい電話)	23	240	23
	点字(点字の会まごころ)	31	0	56
	傾　聴　す　ず　ら　ん	14	190	40

※点字まごころ(岩間)第４火曜日の活動は、点訳三六の会(友部)と合同で活動しています。

（３）児童･生徒のボランティア活動普及事業の推進

①市教育委員会との連携

②福祉協力校への助成　36ヶ所

（幼稚園･保育園・こども園16ヶ所，小中学校17ヶ所，高校3ヶ所）760,000円

③ボランティア普及事業協力校指定に伴う担当者会議の開催

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 6.16	協力校担当者会議(幼稚園,保育園,こども園,小学校,中学校,高校担当者)	1.ボランティア活動普及事業協力校事業報告について 2.ボランティア活動普及事業協力校助成金について 3.社協事業計画について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	32

④先生方の福祉研修会の実施

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会　　場	参加者
7. 8.18	「笠間市児童･生徒のボランティア活動普及事業」先生方の研修会	講話と院内見学 講話「児童思春期の支援について」 講師　地域連携サービス部 医療福祉相談室長　　和智　萌　氏	茨城県立こころの医療ｾﾝﾀｰ	28

⑤学校依頼による福祉体験学習

実施日	学校名	内　容	参加者延人数	協力者人数
7. 6.24	稲田中学校	車いす・高齢者疑似体験・手話・点字体験	33	9
7.11. 5	笠間小学校	手話・点字・車イス体験	121	17
7.12.11	稲田小学校	アイマスク・車いす体験	15	3
7. 9.10	みか保育園	手話体験（祖父母参観日）	46	5
10. 7	大原小学校	シニア・車いす・アイマスク体験	22	4
10.28		点字体験	22	5
11. 4		手話体験	22	2
10. 9	友部小学校	手話・シニア・車いす・アイマスク体験	118	17

11.27	友部第二小学校	シニア・車いす・アイマスク体験	126	12
8. 1.22			64	8
2.16		点字・手話体験	95	9
合　　計			684	91

⑥赤い羽根共同募金ポスター募集

市内の小中学生を対象に赤い羽根共同募金に関するポスターを募集しました。赤い羽根共同募金の推進スローガンである『じぶんの町を良くするしくみ。』をテーマに、募金を使って「この町にあったら良いな！」と想うことを描いてもらいました。

作品数	小学生の部	96作品
	中学生の部	10作品

（４）高齢者・障がい者福祉

①訪問カットサービス

寝たきりの高齢者や障がい者への理容、美容の訪問サービスを行いました。（１人４回まで）

	対象人数	延回数	協力事業所
合計	34	107	12

②年忘れ配食

配食サービスを利用しているひとり暮らし高齢者に、ボランティアによる手作りのお弁当を届けました。

	合計
配付数	164

③団体助成

民生委員児童委員協議会（笠間地区、友部地区、岩間地区）・遺族連合会・更生保護女性会・在宅介護者の会・身体障害者福祉協会・聴覚障害者協会・高齢者クラブ・手をつなぐ育成会に助成しました。

単位：円

助成数	合計
10団体	903,000

（５）広報活動

ボランティアセンターだよりの発行(社協だよりに記事掲載)

（６）遺児養育手当

市に住所を有し、かつ、居住する、父母または父か母と死別した義務教育修了前の児童・生徒を、家庭において養育している方に、遺児１人につき月額2,000円を支給しました。

単位：円

世帯数	人　数	共同募金配分金	寄付金（三共金属工業所より）	諸経費
22 (うち新規3世帯)	30 (うち新規5人)	637,000	90,000	39,000

（７）新入学祝金

市内に住所を有し、居住するひとり親世帯（母子・父子）で小学校及び中学校の新入学児童・生徒の保護者に、児童・生徒1人につき5,000円を支給しました。

単位：円

世帯数	人　数	共同募金配分金	寄付金（三共金属工業所より）	諸経費
55	57	285,000	171,000	550

※(6)(7)につきましては、(有)三共金属工業所様より寄付があり、3,000円上乗せしました。

（８）歳末援護金

市民税が非課税世帯の方に、明るく新年を迎えられるよう配分しました。

(配分金額：１人世帯5,000円、２人以上世帯7,000円)

単位：円

事　　業	配分金額	世　　帯
援護金（ひとり暮らし高齢者）	2,485,000	497
〃　（高齢者世帯）	238,000	34
〃　（要介護4・5の世帯）	40,000	6
〃　（母子世帯）	224,000	32

〃　(父子世帯)	7,000	1
〃　(身体障がい児・者世帯)	124,000	20
〃　(知的障がい児・者世帯)	21,000	3
〃　(精神障がい児・者世帯)	14,000	2
〃　(生活困窮者世帯)	379,000	61
〃　(準要保護世帯)	7,000	1
振込手数料・郵送料・消耗品	314,191	
合　計	3,853,191	657

（9）子育て支援フードパントリー事業

フードパントリーとは、食の支援を必要としている方へ食料品等を無料で提供する活動です。

現在の物価高騰により、生活に影響を受けている「子育て世帯等」の日常生活を支援するため、お米5kgと日用品等を配布しました。

期　間	対象者	世　帯
R7.12.1～R8.1.31	ひとり親世帯等	151世帯

※この事業は、茨城県共同募金会「地域共生社会づくり特別助成」を活用しました。

１３．善意銀行の運営

皆さまから善意の金品をお預かりし、地域福祉活動や福祉団体へ助成するなど、福祉の充実に向けて大切に活用させていただきました。

（1）善意銀行

①金銭預託の部　　単位：円

	金　　額	件数	内　　訳
前年度繰越金	18,356,803		
預　託　金	1,488,971	44	
合　　計	19,845,774		
払　出　金	1,609,855	12	・地域福祉事業へ繰出　　6件 ・法人運営管理へ操出　　5件 ・共同募金事業へ操出　　1件
次年度繰越金	18,235,919		

②物品預託の部

○使用済み切手、未使用切手等、エコキャップ、廃品回収アルミ缶

○福祉用品(車いす、オムツ等)

○生活用品類（米、野菜、レトルト食品、カップ麺、缶詰、調味料、タオル、雑巾等）

○その他（配食用弁当掛け紙、ソーラーパネルセット、グラウンドゴルフボール、文房具セット等）

③物品払い出しの部

市内福祉施設、茨城県社協、ボランティア連絡協議会各支部へ払い出しました。

（2）福祉機器などの貸出しサービス

車いす、松葉杖、インスタントシニア、点字版、ポップコーン機、綿あめ機、かき氷機、着ぐるみ、グラウンドゴルフ、輪投げ、福祉車輌（燃料代実費負担）を貸し出しました。

１４．福祉バス利用状況

福祉バスの管理・運営

福祉バス利用状況報告

月	利用団体数					利用延人員
	社協			行政	合計	
	事業	支部地区	ボランティア			
4月	1				1	30
5月		1			1	33
6月		3	1		4	119

7月		1			1	29
8月					0	0
9月			1		1	37
10月		3	5	1	9	36
11月		7	4	1	12	329
12月	1	1			2	367
1月		1			1	29
2月		2			2	64
3月		1			1	35
合計	2	20	11	2	35	1,108

１５．総合相談

福祉の総合相談窓口として、市民の相談を受付け、関係機関などと連携しながら課題解決に向けた支援を行います。

可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、高齢者、障がい者など要援護者及びその家族のニーズを起点に、地域の包括的な支援やサービス提供体制の構築を推進します。

（１）総合相談等の現況

区　　分	相談延件数	在宅ケアチーム数
介護保険給付対象者	269	68
ひとり暮らし高齢者	636	81
その他要援護高齢者	135	15
身体障がい者	4	1
知的障がい者	279	6
精神障がい者	751	12
難病患者他	7	3
子育て親等	12	0
終末期患者	0	0
ＤＶ被害者	0	0
ひきこもり	5	0
その他	112	1
合　計	2,210	187

（２）救急医療情報キットの設置推進

地域ケアコーディネーターが高齢者や障がい者世帯等に対し、救急搬送時に活用するための情報を収集した、救急医療情報キットを設置しました。

救急医療キット設置数　　計　332件

（３）周知活動

福祉のしおり配布

Ⅲ．受託事業

１６．地域包括支援センター（ブランチ）業務

住民の利便性を考慮し、身近な場所で地域の住民からの相談を受け付け、笠間市地域包括支援センターに繋ぐための相談窓口（ブランチ）として業務を行いました。また、訪問などにより生活機能の低下のおそれのある場合や支援が必要な場合は、地域包括支援センターと連携し介護予防事業等に繋げました。

（１）相談延件数（本人及び家族）

内　容		電話	来所	訪問	合計
介護保険に関すること		71	15	41	127
保健・医療	介護予防	10	0	9	19
	医療（入院・受診・在宅医療）	17	7	1	25
	認知症	6	0	4	10
	精神・アルコール（その他の依存症含む）	5	0	1	6

権利擁護	虐待（通報・相談・疑い含む）	0	0	0	0
	成年後見制度	1	0	0	1
	金融・消費・契約	0	1	0	1
福祉	行政の福祉サービス（おむつ券・高齢者見守り・フードバンク他）	127	23	313	463
	生活支援（民間の移送サービス・住民主体の買い物支援など）	1	2	3	6
	生活困窮・経済	25	6	9	40
その他	家族関係（ＤＶ・引きこもり・ヤングケアラー・家族調整など）	0	1	0	1
	安否確認	5	1	9	15
	住まい（入所・住み替え）	10	0	2	12
合　計		278	56	392	726

（２）高齢者の実態把握調査

85歳以上のひとり暮らし高齢者やサービス未利用者等を訪問し、身体状況や日常生活等の把握や各サービス案内を行いました。

・訪問件数　　計257件

（３）会議等

実施時期	会議名	内　容	場　所	参加者
7. 6.20	地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会	地域包括支援センターの事業報告及び収支決算・計画及び収支予算、地域密着型サービス事業者の利用状況実地指導など	笠間市役所	1
7. 6.23	認知症ワーキング	認知症施策実績報告、現在の認知症対策事業について	地域医療ｾﾝﾀｰかさま	3
8. 3.16				2
7. 5.15	地域課題検討会	保健所案内、個人情報の取り扱い、自殺対策計画、引きこもりアウトリーチなどについて	笠間市役所	1
5. 8	地域包括ケア会議	事例検討(見える事例検討)など	地域交流ｾﾝﾀｰいわま	3
6.12			友部公民館	3
8.21			地域交流ｾﾝﾀｰいわま	2
9.11			友部公民館	3
10. 9			笠間公民館	3
12.11			友部公民館	3
8. 1. 8			笠間公民館	3
2.12			地域交流ｾﾝﾀｰいわま	3
7. 7.17	地域包括ケア会議（個別）	個別ケース検討	友部公民館	1
8. 3.19			市役所本庁	1
7. 4.10	ブランチ報告会	介護保険サービス未利用者実態調査の報告及び近況の情報交換や今後の対応の検討	笠間市役所	4
10. 9				4
8. 1. 8				4

１７．かさま安心サポート事業

住民の利便性を考慮し日常生活圏ごと（友部・笠間・岩間）に、社会福祉協議会内に「かさま安心サポートセンター」を設置し、相談業務にあたる職員を各１人配置し、頼れる親族等がいない65歳以上の高齢者に対し、相談を受け、入院時における身元保証機能の提供および入院により実行できない必要不可欠な生活上の支援並びに、死後の処遇に関する支援等を行いました。

（１）相談実人数

R7.4～R8.3	
本人	関係機関
49	31
合　計	80

（２）相談延件数

R7.4～R8.3	
本人	関係機関
105	56
合　計	161

（３）契約者数

R7.4～R8.3	合計
0	0

（４）利用者数

計　　0人

（５）利用調整会議の開催状況

実施時期	内　容	会　　場	参加者
8. 1.26	利用調整会議	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	15

（６）事業調整打合せ

実施日	内　容	会　　場	参加者
7. 4. 9	高齢福祉課と預託金について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	11
5.26	高齢福祉課と契約書など様式について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	11
7. 7	高齢福祉課と実績報告書について	市役所高齢福祉課	3
6. 6	常陽銀行と預託金通帳の作成について	常陽銀行友部支店	6
9.22	友部地区相談者の利用調整会(プレ)について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	9
10.23	高齢福祉課と実績報告について	市役所高齢福祉課	4
10.29	高齢福祉課と実績報告について	市役所高齢福祉課	4
11.27	内部打ち合わせ利用調整会議開催について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	5
11.28	県社協と専門員研修会について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	4
8. 1. 6	高齢福祉課と死後委任事務契約公正証書について	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	5
1.22	内部打ち合わせ利用調整会議開催について(開催に向けて)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	4
2. 6	内部打ち合わせ利用調整会議開催について(振り返り)	地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	3
3. 9	高齢福祉課と遺贈について	市役所高齢福祉課	4

（７）事業説明

実施日	事業団体	内　容	会　　場	参加者
7. 4.16	笠間地区民協	かさま安心サポートパンフレットにより事業説明と周知	笠間公民館	64
5. 7	友部地区民協		地域福祉ｾﾝﾀｰともべA館	63
5. 8	岩間地区民協		市役所岩間支所	36
5.14	茨城県立中央病院		県立中央病院	30
6.17	かさまケアマネ会		地域交流ｾﾝﾀｰﾄﾓｱ	63
6.30	笠間市立病院		笠間市立病院	7
7.12.24	茨城県社協	日常生活自立支援事業専門員へ事業説明	県ﾄﾗｯｸ協会	70
8. 2.19	笠間市消費生活ｾﾝﾀｰ	消費者大学でのパネラー講師	地域交流ｾﾝﾀｰともべA館	50

１８．生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対し、安定した生活が送れるよう、生活資金の貸付けを行い自立を支援しました。

※県社会福祉協議会の審査があります。　　単位：円

資金項目	現貸付件数	滞納件数	貸付者数	全体額
総合支援資金	27	25	0	13,882,551
福祉・教育・小口	46	36	2	58,022,164
離職者支援・要保護不動産担保	2	1	0	9,820,354
合計	75	62	2	81,725,069

１９．フォローアップ支援事業

コロナ特例貸付の償還が令和５年１月から開始され、償還免除の承認を受けた方や償還が困難な方ど、本貸付が自立の阻害とならないよう継続的に支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立相談支援機関へつなぐ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
償還免除申請書への記載援助	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
償還免除未申請者へ償還免除を案内	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
県社協へ少額返済の相談	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	6
償還猶予相談	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	10
その他（生活状況把握・住所変更届等）	115	108	52	134	110	107	105	79	59	19	68	40	996

活動実件数	1,017
世　帯　数	212

特例貸付債権数	世帯数	償還免除債権数	償還完了債権数	償還猶予債権数
1,267	553	500	169	5

２０．生活困窮者自立相談支援事業

経済的に困窮している方に対し、相談支援員等が一緒に課題を整理しながら自立プランを立て、自立に向けた解決策を図るお手伝いをします。この制度は、生活保護に至る前の生活困窮者に対し、自立相談支援等を実施することで、「自立の促進」を図ることを目的としています。自立相談支援事業及び家計改善支援事業を笠間市より受託し、生活に困っている方が抱える様々な問題・悩みに対応し、自立した生活を営めるように相談及び支援を行いました。

①新規相談者数　計27人

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	0	2	1	5	8	1	1	18
女性	1	1	3	2	1	0	1	9
合計	1	3	4	7	9	1	2	27

②支援件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規者	実人数	4	2	2	1	4	3	5	0	2	1	3	0	27
	支援延件数	11	16	20	12	17	17	20	20	23	27	19	19	221
	就労支援延件数	0	0	0	0	10	1	12	5	2	1	10	3	44
継続者	実人数													191
	支援延件数	51	38	44	45	24	38	49	38	27	26	9	15	404
	就労支援延件数	4	1	0	0	7	9	9	3	3	8	4	4	52

③就労者数　　計10人

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	2	0	2	4	0	1	9
女性	1	0	0	0	0	0	1
合計	3	0	2	4	0	1	10

就労先：一般企業等（児童ｸﾗﾌﾞ、やわらぎﾌｧｰﾑ、JT日本たばこ産業、県立中央病院事務、ｴｱｳｫｰﾀｰ工場、ﾌｧﾅｯｸ工場、ﾄﾝﾎﾞ東京物流ｾﾝﾀｰ、ｴﾘｰｽﾞﾄﾚｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾌｼﾞｼｰﾙ、山中）

④住居確保給付金　計1人

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	0	0	0	0	0	1
女性	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	0	1

⑤家計改善支援事業　計5人

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
男性	1	0	0	0	1	0	0	2
女性	1	0	0	0	1	0	1	3
合計	2	0	0	0	2	0	1	5

２１．日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで、判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用手続きや金銭管理をして、暮らしの“あんしん”をお手伝いする制度です。

笠間市社会福祉協議会が基幹的社協として専門員を配置し、相談援助及び利用契約締結した対象者に対して18名の生活支援員が金銭管理等の支援を行いました。

（１）相談援助件数累計（問い合わせ・相談援助件数）

内容 ＼ 対象者 / 事項	本事業の利用に関するもの				合計
	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
a.問い合わせ件数（制度、事業について）	7	5	7	2	21
b.初回相談件数（初回相談受付）	4	2	6	0	12
c.相談援助件数（a.b以外）	501	453	894	79	1,927
合計	512	460	907	81	1,960

（２）契約締結件数累計

事項 ＼ 対象者		認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計（内生活保護者）
契約者数		4	3	3	0	10(4)
契約時自宅外（内訳）	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0

（３）終了件数累計

事項 ＼ 対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
累計	4	1	2	1	8

（４）対象者別利用者数　計54　（笠間8　友部41　岩間4）

事項 ＼ 対象者	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合計
実利用人数	15	18	19	2	54

２２．在宅福祉サービスセンター事業

日常生活に不安を感じている高齢者や障がい者、子育て支援を必要としている方を対象に、地域で安心して生活ができるように、住民の参加と協力による会員制の有償サービスを提供しました。

サービス内容

・家　事　支　援：食事づくり・買い物・清掃・洗濯など
・移送サービス：専用車輌での通院時の送迎
・子育てサポート：乳幼児の預かり保育など

①事業研修

実施日	事業・会議名	事業概要（会議事項）	会場	参加者
7.11. 8	講習会	移動サービス運転者認定講習会	水戸市かたくりの郷	2
11. 9	講習会	移動サービス運転者認定講習会	水戸市かたくりの郷	2
8. 3.28	講習会	移動サービス運転者認定講習会	笠間市社協	2
3.29	講習会	移動サービス運転者認定講習会	笠間市社協	2

②活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員
家事支援サービス	673	802.0	673
移送サービス	1,039	1,205.5	1,039
子育てサポート	48	68.0	48
合　　計	1,760	2,075.5	1,760

③会員数

	笠　間	友　部	岩　間	合　　計
協力会員	15	48	9	72
利用会員	65	145	42	252
賛助会員	24			24

２３．子育て世帯訪問支援事業

家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭の抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とします。

①活動状況

サービス内容	利用延回数	利用延時間	協力延会員	内　容
家事支援サービス	1	3	1	薬受取り
移送サービス	5	7	5	施設・病院への送迎
子育てサービス	0	0	0	
合　　計	6	10	6	

２４．移動支援事業

利用者が社会生活上必要不可欠な外出及び、余暇活動等の社会参加のための外出の際にヘルパーを派遣し、安全に移動できるように支援しました。

・屋外での移動に困難がある障がい者･障がい児及び医師により発達に障がいがあると診断された方が対象
・利用者はサービスに係る費用の1割負担

利用延人数	利用延時間
12	90

２５．手話奉仕員養成講座

手話で日常会話を行うのに必要な手話表現技術を習得した手話奉仕員を養成し、聴覚障がい者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるサポートや交流活動への「きっかけ」につなげています。

講座終了後はサークル化を目指し、ボランティアの増加を図っています。

利用延人数	回数
251	21

Ⅳ．指定管理業務

２６．地域福祉センター事業の経営

（１）地域福祉センターともべA館・B館

①利用延人数及び利用団体数

名　　称	利用延人数	団体数	名　　称	利用延人数	団体数
ボランティア	7,404	747	まろん	442	230
支部社協	2,044	119	社協	1,474	278
団体	1,121	84	就労継続B型	3,177	240
区	387	28	いきいき通所	2,604	196
行政	13,090	801			
つくしんぼ	1,151	230	合　　計	32,894	2,953

②A館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、年末年始を除く毎日）

開館日数：358日

部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)
研修室1	281	2,995	78.49	点字手話室	213	902	59.50
研修室2	187	2,194	52.23	録音室・前室	43	137	12.01
和室1	180	1,353	50.28	いきいき通所	199	2,622	55.59
和室2	205	1,493	57.26	ミーティングルーム	86	581	24.02
相談室	196	684	54.75				
調理室	199	1,530	55.59	合　計	1,789	14,491	

③B会館部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：243日

部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)
就労継続B型	239	3,159	98.35	調理室	60	500	24.69
つくしんぼ	230	1,151	94.65	eスポーツ室	71	277	29.22
まろん	230	442	94.65	職員室	233	1,866	95.88
支援室	206	3,411	84.77	相談室	230	2,054	94.65
多目的室	272	5,551	111.93	合　計	1,771	18,411	

（2）地域福祉センターいわま

①利用延人数及び利用団体数

名　称	利用延人数	団体数	名　称	利用延人数	団体数
ボランティア	3,404	277	社協	302	62
支部社協	0	0	就労継続B型	1,533	238
団体	2	1	いきいき通所	2,273	145
区	0	0			
行政	11,763	31	合　計	19,277	754

②部屋使用回数及び稼働率（開館日は、土・日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日）

開館日数：242日

部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)	部　屋	使用回数	人数	稼働率(%)
図書室	8	15	3.31	ロビー	14	1,910	5.79
集会室	161	3,289	66.53	栄養実習室	63	547	26.03
相談室	59	143	24.38	健康教育室	65	554	26.86
和室	10	1,593	4.13	就労継続B型	238	1,533	98.35
検察室1・2	23	1,879	9.50	いきいき通所	157	3,706	64.88
指導室	25	1,986	10.33				
ボランティア室	69	2,098	28.51	合　計	892	19,253	

（3）「クーリングシェルター」の開設

熱中症による健康被害を防止し、市民の生命と健康を守るため、「クーリングシェルター」を設置しました。

クーリングシェルターは、本来の目的での施設利用の有無にかかわらず、一時的に暑さをしのぐ場所として誰でも利用できる施設です。

Ⅴ．障害者支援事業

２７．障害者就労継続支援Ｂ型事業

在宅の心身障がい者が通所により、日常生活に必要な社会訓練や作業訓練を行い、生活への適応と生きがいを高めるサービスを提供しました。

名　称		たけのこ					あおぞら				
利用者数		15					8				
内訳	療育手帳級別	Ⓐ	A	B	C	計	Ⓐ	A	B	C	計
		1	7	3	0	11	0	1	2	1	4

	身体障害者手帳級別	1級	2級	3級	4級	計	1級	2級	3級	4級	計
		0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	精神障害者保健福祉手帳・その他	3					4				
開所日数		239					239				
入所者		1					1				
退所者		2					0				
内容		週5日（月曜日～金曜日） 午前9時30分～午後3時30分 作業支援を中心に、各種事業及びレクリエーションの実施、社会参加									

*療育･身体障害者手帳両保持者有

２８．指定特定相談支援事業所

障害のある方が障害福祉サービスを利用するにあたって、相談支援専門員が一人ひとりに適したサービス計画を作成しました。

笠間市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所を令和６年７月より開設しています。

（１）計画相談支援件数累計

内容	本事業の利用に関するもの				合計
対象者／事項	身体障がい者	知的障がい者等	精神障がい者等	不明・その他	
相談件数	7	7	11	0	25
新規契約件数	4	6	9	0	19
解約件数	1	0	5	0	6

（２）契約者数（地域別）

市内：35件（身体：4件、知的：10件、精神：21件）

市外： 0件

Ⅵ．介護予防・日常生活支援総合事業

２９．通所型サービス「いきいき通所事業」

ひとり暮らしや外出する機会が少ない高齢者を対象に、日常生活の孤独感解消や自立した生活を促進し、高齢者の生きがいづくりと介護予防を支援することを目的として、専門性及び身体介護を伴わない通所型サービスを提供しました。

	笠間	友部	岩間
利用延人数	2,076	2,594	2,298
開催日	水から金曜日	火から金曜日	水から金曜日
実施日数	147	196	147
開催場所	地域交流センター はこだ､稲田､みなみ	地域福祉センター ともべA館	地域福祉センター いわま
主なサービス	・身体的な機能低下を予防するための体操や運動レクリエーション活動 ※運動機能向上に資するプログラム（シルバーリハビリ体操、スクエアステップ等）を一人当たり2 回／月程度実施 ・認知症及び閉じこもりを予防するための活動 ・趣味や特技を活かした、生きがいづくり活動 ・栄養改善のための活動及び健康チェック（血圧や脈拍測定） ・その他、参加者及び地域の特性に合せた行事 ・自宅から会場への送迎 ・食事の提供		

・3 地区指導員ミーティング及び研修会

実施内容のベースアップを図るため、毎月 3 地区指導員のミーティングを実施しました。

開催日	内　容	場　所	参加者
毎月第2月曜日	地区での行事予定確認、レクリエーションの共有	社協本所及び支所	36
7. 9. 8	普通救命講習会	社協本所	14

・DK エルダーシステム（DAM）の導入により、レクリエーション内容の質を高めました。

３０．訪問型サービス「ふれあいサポート事業」

要支援者及び介護予防対象者に対し、身体介護を含まない生活支援を行い安心して日常生活を過ごすことができるよう支援しました。

①活動内容

清掃・調理・買い物代行・ゴミ出し

②ふれあいサポート利用延人数

	笠　間	友　部	岩　間	合　計
45-60分	69	203	85	357
45分未満	67	595	5	667

３１．生活支援体制整備事業

ひとり暮らしの高齢者や高齢のみ世帯が増えていく中、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていくには既存のサービスだけでなく住民同士で支え合う仕組みづくりが必要なため、それぞれの地域で話し合いの場を開催し、支え合う仕組みづくりの推進を一体的に図りました。

①第2層協議体の開催

実施日	内　容	会　場	参加者
7. 5.23	箱田小圏域第2層協議体「友びきの会」	箱田地内	16
	・社会資源を巡る街歩きのコース下見「西コース」		
8.22	・「箱田の名所めぐりハイキング」実施に向けての検討		12
	・ゴミ出しの課題の共有		
11. 8	・箱田名所めぐりハイキング		40
8. 2.20	・地域資源の共有	地域交流ｾﾝﾀｰ	14
	・ハイキングの反省	はこだ	
7. 5.29	東小圏域第2層協議体「大池田の会」	㈱ｱﾄﾞﾊﾞﾝﾌｫｰｽ	19
	・地域資源マップづくり	地域交流ｾﾝﾀｰ	
	㈱アドバンフォース協議体協力	大橋	
8.28	・地域資源マップづくり	旧東中学校	13
	ゴミ出し課題の共有		
	旧東中学校の運動会参加についての検討		
10.22	・旧東中学校大運動会　当日の役割分担、ｽｹｼﾞｭｰﾙ等の確認	社協笠間支所	16
10.26	・旧東中学校大運動会へ参加	旧東中学校	21
8. 1.22	・旧東中学校大運動会の反省	旧東中学校	7
7. 4.25	稲田小圏域協議体「にじの会」	社協笠間支所	18
	・生活支援体制整備事業を理解する		
	・ネーミング決定		
7.25	・ゴミ出しの課題共有	地域交流ｾﾝﾀｰ	17
	・子ども食堂について（子ども政策課参加）	いなだ	
10.24	・地域情報の共有	地域交流ｾﾝﾀｰ	19
	・子ども食堂の進捗状況にについて	いなだ	
8. 1.23	・地域資源（地域のお宝）の共有	地域交流ｾﾝﾀｰ	21
	・子ども食堂の進捗状況にについて	福原	

7. 5.20	宍戸小学校区第2層協議体「3日前の会」	歴史民俗資料館	16
8.26	・歴史民俗資料館見学		14
	・ゴミ出しの課題共有		
	・歴史民俗資料館活用について		
11.25	・地域資源（地域のお宝）の共有	地域福祉ｾﾝﾀｰ	12
	・地域と学校（こども）とのつながりの構築について	ともべＡ館	
8. 2.24	・地域資源（地域のお宝）の共有		13
	・地域学校協働活動推進員について		
	・地域の移動手段について		
	・ヒアリングシートの記入につい		
7. 4.24	東支部圏域第2層協議体「東風の会」	地域福祉ｾﾝﾀｰ	12
7.24	・サロン説明会実施に向けての検討・情報共有（サロン未実施地域へ広めるため）	ともべA館	14
11. 7	・地域資源（地域のお宝）共有	地域福祉ｾﾝﾀｰ	16
	・サロン説明会実施に向けての検討	ともべＡ館	
11.28	・サロン説明会　事前練習		5
12.12	・サロン説明	鴻巣新農村集	28
8. 2.13	・生活支援体制整備事業説明	落ｾﾝﾀｰ	16
	・地域資源（地域のお宝）共有		
	・サロン活動を更に広げるための検討		
	・ヒアリングシートの記入について		
7. 5.28	中央支部圏域第2層協議体「三月の会」	地域福祉ｾﾝﾀｰ	15
	・地域情報の共有	ともべＡ館	
	・ゴミ出しの課題共有		
8.27	・顔の見えるコミュニティづくりについて		12
11.26	・地域資源（地域のお宝）共有	地域福祉ｾﾝﾀｰ	10
	・地域で助け合う仕組みづくりについて	ともべＡ館	
8. 2.25	・地域資源（地域のお宝）共有		11
	・地域内の交流活動について		
	・ヒアリングシートの記入について		
7. 6.20	大旭支部圏域協議体「朝日の会」	地域福祉ｾﾝﾀｰ	10
9.19	・地域情報の共有	ともべＡ館	12
	・協議体の役割について		
	・協議体のネーミングについて		
7. 6.24	岩間地区第2層協議体「和気あいあいの会」	地域交流ｾﾝﾀｰ	14
8.8	・地域食堂実施に向けた検討、たんぽぽ食堂の状況説明	いわま	22
	・岩間ライオンズクラブ、青少年岩間地区市民の会、生長の家とのマッチング、情報交換、協議体への参加		
10.14	・地域資源（地域のお宝）共有		18
11.14	・地域食堂に向けた継続検討		20
	・地域食堂に向けた継続検討		
8. 2.28	・「わいわい広場」（地域食堂）開催		111
3.25	・「わいわい広場」の反省		18
	・令和８年度の開催について		
8. 1.21	北川根支部圏域第2層協議体	地域福祉ｾﾝﾀｰ	14
	・生活支援体制整備事業の説明	ともべＡ館	
	・話し合いを始めるための勉強会		
	講師：笠間の森カウンセリングルーム　永原　信彦氏		
8. 2. 4	みなみ学園圏域第2層協議体	社協笠間支所	19
	・生活支援体制整備事業の説明		
	・話し合いを始めるための勉強会		
	講師：笠間の森カウンセリングルーム　永原　信彦氏		

②意見交換会（高齢福祉課・地域包括支援センター・社協）

実施日	内　容	会　　場	参加者
毎月第3火曜日	情報共有、進捗状況の確認、課題検討	市役所本庁	毎回6
7. 8.18	地域資源管理ソフト視察	小美玉市社会福祉協議会	5

③コミュニティサロンへの支援

随時訪問し実施状況の確認、運営者との情報共有や相談、マッチング等に対応しました。市内29団体

地区	サ ロ ン 名	開催日	会　　場	訪問数	相談等支援	マッチング出前講座等
笠間	サロンいけのべ	毎月第3月曜日	地域交流ｾﾝﾀｰ池野辺	1	1	0
	青葉の会	毎月第3月曜日	20区児童公民館	1	0	0
	サロンぐうちょきぱ	毎月第3金曜日	15-1区公民館	2	1	0
	ふれあいサロン来栖	毎月第4土曜日	地域交流ｾﾝﾀｰくるす	0	1	0
	大町元気会	毎月第3水曜日	かさま歴史交流館井筒屋	0	0	0
	健幸カフェ	毎月第4火曜日	地域交流ｾﾝﾀｰいなだ	2	2	1
	大郷戸サロン	毎月第1金曜日	大郷戸農村集落ｾﾝﾀｰ	1	0	0
	サロンわらくの会	毎月第4木曜日	地域交流ｾﾝﾀｰはこだ	2	2	1
	福ふくサロン	毎月第1金曜日	関戸ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	1	6	1
	桂いきいき楽しい会	毎月第2月曜日	桂町集会所	1	0	1
友部	松山サロンまつぼっくり	毎月第1水曜日	松山団地集会所	1	2	0
	舘古宿サロン	毎月第1・3金曜日	舘古宿公民館	1	0	0
	ふれあいサロン兎	毎月第2木曜日	長兎路区構造改善ｾﾝﾀｰ	1	5	2
	ふれあいサロンなごみ	毎月第2木曜日	旭崎新農村集落ｾﾝﾀｰ	1	4	1
	当の越サロン	毎月第2金曜日	地域交流ｾﾝﾀｰともべ	1	2	1
	小泉サロン	毎月最終木曜日	南小泉新農村集落ｾﾝﾀｰ	1	4	0
	しらゆりサロン	毎週木曜日	代表者敷地内ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ	1	0	0
	陣屋カフェ	毎月第2火曜日、第4土曜日	旧陣屋ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	1	1	0
	サロンde五平	毎月第2月曜日	五平公民館	1	2	0
	サロン悠遊	毎月第4土曜日	柿橋団地公民館	1	2	1
	サロンひより	毎月第1水曜日または第4目曜日	旭台公民館	1	2	0
	サロン滝川	毎月第4金曜日	滝川公民館	2	3	3
	子育てサロンいろはな	毎月1回	地域交流センターともべ	0	4	0
	子育てサロンくるくる	毎月1回	地域交流センターともべ	1	3	1
	青葉町ほっこりサロン	毎月最終火曜日	まちかどギャラリー	2	3	0
岩間	女子会なごみ	毎月第2・4月曜日	日吉町東公民館	2	3	1
	コスモス	毎月第1・3月曜日	吉岡住宅公民館	0	0	0
	吉岡二区ふれあいサロンあゆみ	毎月第1火曜日	吉岡二区自治会ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	1	4	0
	サロンはしば	毎月第1土曜日	北根公民館	0	1	0
	サロン参り坂	毎月第3火曜日（お茶のみ） 毎月第4木曜日（健康麻雀）	参り坂公民館	0	3	0

④新規サロンへの支援

地区・サロン名	支援内容	開所日・実施	相談支援
上加賀田サロン	サロンの立ち上げ支援、助成金の案内	地域交流ｾﾝﾀｰ上加賀田	1
宮前・鴻巣サロン		鴻巣新農村集落ｾﾝﾀｰ	1
大沢上２区サロン		大沢下２中３公民館	1

⑤地域ケアコーディネーター等との連携

・ひきこもりサロン利用者と地域コミュニティサロンとの連携

⑥地域の生活支援ニーズ及び地域資源の把握

・18件（生活支援７件、サロン１件、介護予防１件、趣味・教養３件、地域活動６件）

⑦その他

実施日	内　容	会　場	参加者
8. 1.29	生活支援体制整備事業　意見交換会（第1層協議体）への参加協力。第2層協議体代表者の選出、参加調整ととりまとめを実施。	笠間市役所	25

⑧研修関係

実施日	内　容	会　場	参加者
5. 8	笠間市地域包括ケア会議	地域交流ｾﾝﾀｰいわま	1
6.12		友部公民館	1
8.21		地域交流ｾﾝﾀｰいわま	1
9.11		友部公民館	1
10. 9		笠間公民館	1
12.11		友部公民館	2
8. 1. 8		笠間公民館	1
2.12		地域交流ｾﾝﾀｰいわま	1
6.13	令和7年度　新任担当者向け研修会	Zoom によるｵﾝﾗｲﾝ研修	1
8. 5	令和7年度ｵﾝﾗｲﾝ座談会	Zoom によるｵﾝﾗｲﾝ研修	3
10.10	「くっちゃべる」全3回		2
12.10			2
8. 1. 8	令和７年度　ALL　IBARAKI　協議体大座談会 「くっちゃべる」	水戸市民会館	2
9. 9	令和7年度　官民連携推進事業研修会	県立健康ﾌﾟﾗｻﾞ	2
10.29	生活支援体制整備事業現任担当者向け研修	ｱﾀﾞｽﾄﾘｱみとｱﾘｰﾅ	2
2. 3	地域づくりブロック別研修関東信越ブロック	Zoom によるｵﾝﾗｲﾝ研修	2

Ⅶ. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

介護保険サービス、障がい福祉サービス提供による収入で介護保険事業所を運営しています。

３２．居宅介護支援事業

ケアマネジャーが介護に関する相談を受け、心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行いました。

	介護度別利用実人数								
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計
4月	7	35	42	123	113	88	35	17	460
5月	7	34	41	122	121	81	43	14	463
6月	7	40	40	122	124	81	38	15	467
7月	6	43	37	128	119	76	39	16	464
8月	6	41	39	122	116	81	42	10	457
9月	6	45	36	130	108	84	42	15	466
10月	7	43	41	135	114	86	40	16	482
11月	6	37	48	146	111	90	38	23	499
12月	7	43	38	138	113	88	35	16	478
1月	6	38	42	130	108	81	37	15	457
2月	6	36	47	127	111	84	39	13	463
3月	8	50	42	141	117	79	44	11	492
計	79	485	493	1,564	1,375	999	472	181	5,648
前年度	73	270	451	1,467	1,365	1,009	416	180	5,231

３３．訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が自宅を訪問し、食事・排泄・入浴などの介護（身体介護）や、掃除・洗濯・買い物・調理などの生活の支援（生活援助）を行いました。

	介護度別利用実人数									訪問回数	訪問時間
	事業対象	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計		
4月	5	20	33	36	27	12	3	3	139	1,084	1,040
5月	5	20	30	35	28	11	2	3	134	1,073	1,021
6月	6	21	31	33	30	8	1	3	133	993	951
7月	6	22	29	35	29	9	2	3	135	1,061	1,010
8月	6	22	29	31	28	10	2	2	130	896	862
9月	6	23	28	32	26	13	2	2	132	1,023	967
10月	6	23	29	32	25	15	3	2	135	1,122	1,051
11月	6	22	29	30	25	15	3	3	133	957	900
12月	6	20	28	28	25	15	2	2	126	936	892
1月	6	20	28	27	23	14	3	2	123	849	826
2月	5	19	27	27	22	11	3	2	116	816	788
3月	6	20	23	27	20	13	2	2	113	846	831
計	69	252	344	373	308	146	28	29	1,549	11,656	11,139
前年度	55	226	343	426	312	115	45	50	1,572	12,580	12,007

３４．訪問入浴介護事業

看護職員と介護職員が自宅を訪問し、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持回復、生活機能の向上を目指し、持参した浴槽を使って入浴介護のサービスを提供しました。

	介護度別利用実人数							訪問回数
	支2	介1	介2	介3	介4	介5	合計	
4月	1	1	2	4	3	5	16	93
5月	0	1	3	4	2	5	15	80
6月	0	1	2	5	2	5	15	83
7月	0	1	2	5	2	5	15	82
8月	0	1	2	5	2	4	14	68
9月	0	2	2	5	2	3	14	76
10月	0	2	3	5	1	5	16	74
11月	0	2	3	5	1	3	14	66
12月	0	4	2	6	2	4	18	76
1月	0	2	1	5	2	3	13	64
2月	0	1	2	3	2	2	10	39
3月	0	1	1	1	0	0	3	15
計	1	19	25	53	21	44	163	816
前年度	0	5	10	48	53	69	185	1,018
	（重度入浴利用者）						0	0

３５．居宅介護事業（ホームヘルプ事業）

訪問介護員が障がいのある方へ、入浴、排せつ及び食事等の介護サービスや調理、掃除等の家事サービスを提供しました。

	利用実人数	訪問回数	訪問時間
4月	40	293	346.75
5月	40	291	347.00
6月	39	281	325.50
7月	39	298	348.50

8月	41	267	315.75
9月	42	291	348.50
10月	42	313	377.75
11月	41	272	328.25
12月	41	290	344.00
1月	40	280	336.50
2月	40	283	334.25
3月	39	305	357.75
合計	484	3,405	4,040.50
前年度	449	3,076	3,896.00